

3次元地理空間情報を活用した

安全・安心・快適な社会実現のための技術開発

事業期間（平成27～29年）

参考資料2

事業概要・目的

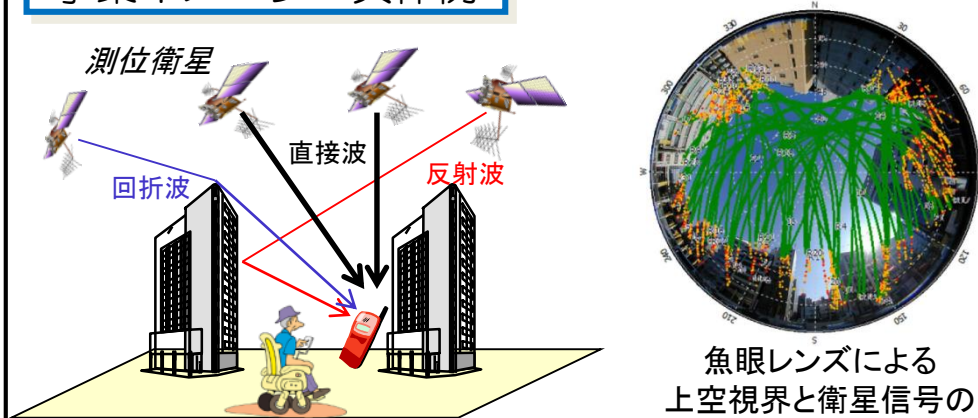
○概要

これまでGPS測量が困難であったビル街においても、GPS、準天頂衛星、GLONASS、Galileo といった多数の衛星測位システムを利用することで、測量できる範囲の拡大が期待されています。しかし、ビル街では反射波や回折波(マルチパス)が発生し、この影響により測位精度が悪くなることが判明しています。このようなビル街においても高精度の位置情報の取得を可能にすることを目的とし、上空視界情報を利用してマルチパスの影響を軽減する技術開発を行います。

○技術開発の効果

- ・ビル等によるマルチパスの影響を軽減し、衛星測位による高精度な位置情報の取得を実現します。
- ・衛星測位により正確な位置情報が取得できる範囲が広がります。

事業イメージ・具体例



ビル等による**反射波**や**回折波**(マルチパス)によりビル影で見えないはずの衛星データを誤って受信するため測位精度が低下

上空視界情報を用いて見えないはずの衛星データを取り除いて測位することにより、マルチパスの影響を軽減し精度向上

上空視界にかかる情報と衛星の位置情報から直接的に受信できている衛星のみを抽出する技術を開発

ビル街のより広い範囲で精度の高い衛星測位が可能